

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **07288874 A**

(43) Date of publication of application: **31 . 10 . 95**

(51) Int. Cl. **H04Q 9/00**
G11B 20/00
G11B 31/00
G11B 31/00
H04N 5/00

(21) Application number: **06075865**

(22) Date of filing: **14 . 04 . 94**

(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

(72) Inventor: **AKIYAMA TOSHIHARU**
WATABE MASANORI
HORI SHINGO
MORITA HIDENORI
WATABE NAOHITO

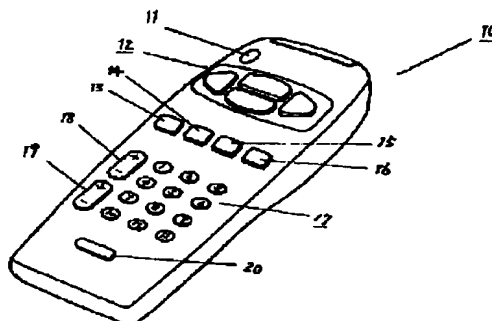
(54) COMPOSITE AV EQUIPMENT

(57) Abstract:

PURPOSE: To improve the operability by providing a mode selection button which is used to select a main body device, interrupts power of an undesired device, does not make no on/off of the device power in the BGV setting but selects the device to a remote commander.

CONSTITUTION: When a power button 11 of a remote commander 10 is depressed, power of the television receiver and a VTR is set, a television broadcast is displayed for a channel selected by a ten-key 17 and an operation button group 12 reproduces a video. Then the operation of television receiver/VTR, CD, radio set, tape recorder selection buttons 13-16 in the mode selection button is used to select each device and to interrupt the power of undesired devices. Thus, only the required device is operated and each device is operated by the button group 12 and the key 17, and when a BGV setting button 20 is depressed, the buttons 13-16 do not make on/off of the power of each device but switch the operation. Thus, the video image of the television receiver and the VTR is set to the BGV and the power consumption is reduced and the operability is improved.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-288874

(43) 公開日 平成7年(1995)10月31日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E			
G 1 1 B 20/00		F 9294-5D		
31/00	5 2 3 Z	9463-5D		
	5 4 1 P	9463-5D		
H 0 4 N 5/00	A			

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

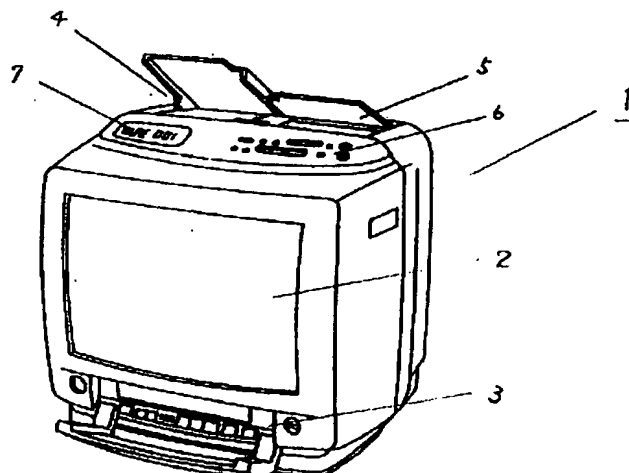
(21) 出願番号	特願平6-75865	(71) 出願人	000005821 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
(22) 出願日	平成6年(1994)4月14日	(72) 発明者	秋山 敏治 香川県高松市古新町8番地の1 松下寿電 子工業株式会社内
		(72) 発明者	渡部 正則 香川県高松市古新町8番地の1 松下寿電 子工業株式会社内
		(72) 発明者	堀 新吾 香川県高松市古新町8番地の1 松下寿電 子工業株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 小鍛冶 明 (外2名) 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 複合AV装置

(57) 【要約】

【目的】 テレビやビデオと、CDプレーヤやテープレコーダを一体のキャビネットに収めた複合AV装置に関し、画面にテレビやビデオの映像を表示しながら、CDやテープの音楽を楽しむ機能を付加しても、使い勝手をよくする。

【構成】 テレビやビデオ3、CDプレーヤ4やテープレコーダをそれぞれ単独で楽しみたいときには、リモコンのモード選択釦によって、操作される機器を切換えるとともに、不必要な機器の電源を切る。B G Vの状態に設定すると、映像と音楽とをそれぞれ楽しむようにするため、リモコンのモード選択釦は、各機器の電源の入・切は行わず、すべての機器の電源を入れたままの状態、で、操作される本体側の機器を切換える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 テレビとビデオテープレコーダの映像機器およびコンパクトディスクプレーヤとオーディオテープレコーダの音響機器とを一体に備えた本体と、前記各機器に対応したモード選択釦により、操作される機器を切換えて前記本体を制御するリモコンとからなり、前記リモコンは、さらに、前記映像機器の映像出力を画面に表示させると同時に、前記映像機器の音声出力にかえて、音響機器の音声出力を可能にするBGV設定用釦を有しており、前記BGV設定用釦の非操作時には、前記選択釦は、前記映像機器側の機器または音響機器側の機器のうち、択一した機器の側のみのすべての機器の電源を入れるとともに、リモコンで操作される機器を択一したものに切換え、前記BGV設定用釦の操作時には、前記選択釦は、各機器の電源の入・切の制御を行わず、映像機器側および音響機器側のすべての機器の電源を入れた状態で、本体側で操作される機器を切換えるようにした複合AV装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、テレビやビデオテープレコーダ（以下ビデオという）等の映像機器と、コンパクトディスクプレーヤ（以下CDプレーヤという）やテープレコーダ等の音響機器とを一体のキャビネットに収めた複合AV装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、テレビとビデオとを一体にしたビデオ一体型テレビや、CDプレーヤとテープレコーダとラジオとを一体にしたいいわゆるCDラジカセは一般に普及しているが、これらビデオ一体型テレビとCDラジカセとを一体にすると機能が集約され、コンパクトでより一層便利になると考えられる。

【0003】 このように映像機器と音響機器とを一体にすると、画面上にテレビやビデオの映像を表示しながら、CDやテープの音楽を楽しむいわゆるバックグラウンドビデオ（BGV）といった新たな使い方も提案することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述のように5つの機器の操作を一つのリモコンに集約すると、操作が複雑になるのは必至であり、さらに新たにBGVを付加するとなると、より一層リモコンの使い勝手の良いシステムであることが望まれる。

【0005】

【課題を解決するための手段】 そこで、本発明の複合AV装置は、本体側にはテレビ、ビデオの映像機器と、CDプレーヤ、テープレコーダの音響機器とを一体に備え、前記本体を制御するリモコンには、前記各機器に対応して、本体側のどの機器を操作するのかを切換える複数のモード選択釦を備えている。

【0006】 このモード選択釦は、例えばテレビまたはビデオを楽しみたいときには、テレビ・ビデオ選択釦が押されると、テレビとビデオの電源がともに入って、CDプレーヤとテープレコーダの電源が切れ、本体側のテレビまたはビデオを操作可能に切換えるものである。そしてCDやテープの音楽を楽しみたいときには、CDプレーヤ選択釦またはテープレコーダ選択釦を押すことによって、CDプレーヤとテープレコーダの電源がともに入って、テレビとビデオの電源が切れ、本体側のCDプレーヤやテープレコーダの操作を可能にするのである。

【0007】 さらに、BGM設定用釦を押圧してテレビやビデオの映像とともに、CDやテープの音楽を楽しむBGVに設定したときは、モード選択釦は、各機器の電源の入・切の制御を行わず、すべての機器の電源を入れた状態が保持され、この状態でのテレビ・ビデオ、CDプレーヤまたはテープレコーダ選択釦の押圧により、リモコンで操作される機器を切換えるようにしたものである。

【0008】

【作用】 上記構成によれば、テレビやビデオの映像機器と、CDプレーヤやテープレコーダ等の音響機器とをそれぞれ単独で楽しみたいときには、モード選択釦によって、リモコンで操作される本体側の機器が切換わるとともに、不必要な機器の電源が切れる。

【0009】 またBGVの状態に設定すると、映像と音楽とをそれぞれ楽しむようにするため、選択釦は各機器の電源の入・切は行わず、すべての機器の電源を入れたままの状態、リモコンで操作される本体側の機器を切換えるようにしたので、操作性がよい。

【0010】

【実施例】 以下本発明の複合AV装置の実施例について、図面を参照しながら具体的に説明する。図1は一実施例における複合AV装置を一体化した本体側の斜視図であり、図2は操作側のリモコンの斜視図である。

【0011】 図1の複合AV装置本体1において、2はテレビ放送やビデオ映像等を表示する画面、3は本体下部に設けられたビデオ、4はCDプレーヤ、5はテープレコーダ、6は本体1に設けられた、ラジオとCDプレーヤ4およびテープレコーダ5の操作釦、7はCDプレーヤ4、テープレコーダ5、ラジオの動作状態を表示する表示部をそれぞれ示しており、ビデオ3、CDプレーヤ4、テープレコーダ5の各扉を開いた状態を示している。

【0012】 図2のリモコン10において、11は本体1側のテレビおよびビデオ3の電源をオン・オフする電源釦であり、12はビデオ3、CDプレーヤ4およびテープレコーダ5におけるテープやディスクの再生、停止、早送り、巻戻し等の操作を行う操作釦群である。13はテレビ放送の受信またはビデオの再生が可能にするテレビ・ビデオ選択釦であり、14は同じくCD

プレーヤを再生可能に切り換えるCD選択釐、15、16はそれぞれラジオ選択釐とテープレコーダ選択釐である。17はテレビチャンネルやCDプレーヤの選曲のためのテンキー、18はチャンネル調整釐、19は音量調節釐、20は本発明の特徴とするBGV設定用釐をそれぞれ示している。

【0013】以上のように構成した複合AV装置についてその動作を説明する。まずリモコン10の電源釐11を押すと、テレビの電源が入りテレビ放送が画面に映し出され、テンキー17によりチャンネルの選択が可能になる。また同時にビデオ3の電源も入り、操作釐群12の操作によってビデオの再生が可能になり、この状態ではビデオ一体型テレビとして利用できる。

【0014】この状態でいわゆるCDラジカセとして、音楽を楽しみたいときの操作について説明する。CD、テープ、ラジオのうち例えば、CDを聞くとときは、CD選択釐14を押す。するとテレビとビデオ3の映像機器側の電源がともに切れて、CDプレーヤ4とテープレコーダ5及びラジオの音響機器側の電源が入る。同時に、本体1は操作釐群12やテンキー17からの信号によりCDプレーヤ4が動作する状態になる。すなわち、操作釐群12の操作によりCDが再生され、テンキー17で選曲ができる。

【0015】同様にテープを聞きたいときには、テープレコーダ選択釐16を押し、本体1はリモコン10からの操作釐群12の信号に対して、オーディオ部5が動作する状態に変える。ラジオを聞きたい場合も同様にラジオ選択釐15を操作して、ラジオ放送に切り換える。またテレビまたはビデオを楽しみたいときは、テレビ・ビデオ選択釐13を押すと、CDラジカセ側、すなわち音響機器側の電源が切れ、テレビとビデオの映像機器側の電源が入り操作が可能となる。

【0016】ところで、オーディオとビデオとを一体にした上記システムにおいては、上述のように5つのAV機器をそれぞれ単独で楽しむ他にも新たな使い方を提供することができる。すなわち、テレビまたはビデオの映像のみを出力し、テレビ・ビデオ部の音声に代えて、オーディオ機器の音声を出力できるようにすることで、テレビやビデオの映像をBGVとし、映像と音声とを別々に楽しむ使い方ができる。

【0017】そこで本実施例の複合AV装置は、BGV設定用釐20を特別に備えている。BGVの状態にするには、予めCDプレーヤ、テープレコーダ、ラジオのうちの一つをモード選択釐14、15、16で選び音声出力をさせておいてから、BGV釐20を押す。するとテレビとビデオの電源が入り、画面2にテレビ放送の画面が映し出される。このとき音声は、先に選択されていたCDのままであり、テレビの音声出力は切放されて、そ*

*の映像信号のみ出力されてBGVとなる。

【0018】ここでテレビ放送にかえてビデオの映像をBGVとして楽しみたいときは、テレビ・ビデオ選択釐13を押し、リモコン10からの信号によって本体1のビデオ3が動作する状態に切换え、操作釐群12によりビデオの再生を開始するのである。また、BGVでCDにかえてテープやラジオを楽しみたいときは、モード選択釐15、16で切换えて、ラジオやテープレコーダを操作する。さらにBGVモードを終えて、CD等を聞くにはBGV設定用釐20を押して、テレビ画面を消し、上述のCDラジカセのモードにする。またテレビやビデオを見るには、BGV設定用釐20に続いて、テレビ・ビデオのモード選択釐13を押す。

【0019】ところでBGVの状態では、モード選択釐による動作は、上述の通常のBGVでないときの動作と異なった動作をする。すなわちテレビ・ビデオ選択釐13を押しても、映像機器側および音響機器側の電源の入・切を行わず、CDやテープやラジオを聞くために、モード選択釐14、15、16を押しても、テレビとビデオの電源が切れないようにしてある。BGVは、映像と音楽とを楽しむモードであるため、テレビ、ビデオ側の電源と、CDラジカセ側の電源を常に入れておき、モード選択釐は、リモコンの操作釐群12やテンキー17により、テレビ、ビデオ、CDプレーヤ、テープレコーダ、ラジオのうちどれを動作させるのかを切换するための機能を持つことになる。

【0020】

【発明の効果】このように、本体側の複数の機器をそれぞれ単独で楽しむときには、選択釐は、リモコンで操作される本体側の機器を切换すると同時に、不必要な機器の電源を切るので、省電力となる。またBGVの状態にすると、映像機器と、音響機器とをそれぞれ操作できるようにする必要があるため、選択釐は各機器の電源の入・切は行わず、本体側のどの機器が動作するのかを切换できるようにしているので、操作性がよい。

【図面の簡単な説明】

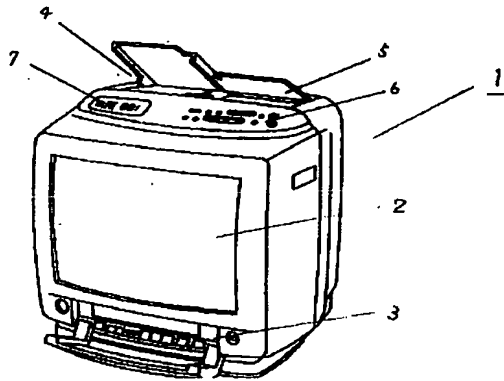
【図1】本発明の複合AV装置の本体側の斜視図

【図2】本発明の複合AV装置のリモコンの斜視図

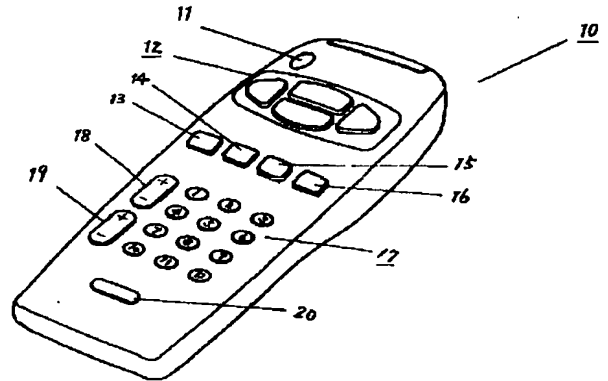
【符号の説明】

- 1 AV装置本体
- 3 ビデオ
- 4 CDプレーヤ
- 5 テープレコーダ
- 12 操作釐群
- 13, 14, 15, 16 モード選択釐
- 17 テンキー
- 20 BGV設定用釐

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(72)発明者 森田 秀則
香川県高松市古新町 8 番地の 1 松下寿電
子工業株式会社内

(72)発明者 渡部 尚人
香川県高松市古新町 8 番地の 1 松下寿電
子工業株式会社内